

■2025年度県優良技術者表彰の建設工事における発注機関推薦基準

番号	推薦基準	推薦基準の考え方
①	当該工事が優良であり、かつ技術者の高度な技術力が確認できるもの	次の全てに該当するもの ①工事成績評定が優良な工事 ②技術的に高度または難易度が高い工事 ③出来形管理、品質管理、工程管理、安全管理が優良、かつバランスが良く、出来栄が良い
②	建設現場の生産性向上や働き方改革において効果的な取り組みを行ったもの	次の取り組みのいずれかを実施し、効果が大きいもの ①ICT活用工事 ②BIM/CIMの活用 ③新技術への取り組み ④現場環境改善・公共工事のイメージアップに関する取り組み ⑤下請けへの指導
③	管理能力が高い、仕事に対する積極性・誠実性等が優れている、環境への配慮などの取り組み、地域からの評価が高い取り組み	次のいずれかに該当するもの ①市街地や住宅密集地において、積極的に関係機関や地元と調整を行い、円滑に、かつ工期限内に工事を完了させた ②施工や地域の安全確保が特に重視される山間地域や急傾斜地、河川工事において、仮設を含めた適切な施工管理により、事故なく、かつ円滑な施工を行った ③ゼロカーボン施策への貢献、環境保全の取り組み ④地域住民組織や自治体から感謝状を贈られた ⑤発表会や論文などで表彰された取り組みを実施した（発表主体は問わない）
④	社会インフラの災害復旧工事、維持管理工事に、地域の守り手として積極的かつ効果的な取り組み、地域貢献度が特に高いもの ※本項目は工事成績評定点を付与しないものが対象 ※除融雪業務も対象 ※企業（または企業体）としての取り組みは、企業（または企業体）を表彰対象とする	次のいずれかに該当するもの。ただし、経験等に基づく総合的な技術的判断により実施されたものを対象とする。 ①災害時等、応急工事に尽力し、ライフラインや住宅等への被害の拡大防止や交通確保等により、社会的影響の軽減を図った ②大規模な車両滞留が広域的に想定される大雪に対し、地域の交通確保に尽力し、効果的な取り組みを行った ③突発的かつ社会的影響が大きい事象における緊急要請に対し、迅速かつ積極的に尽力するなど地域への貢献が大きい ④新技術の採用等により、JV全体で維持修繕作業または除雪作業の大幅な効率化を図り、公共施設利用者や地域への影響を軽減